

平成 29 年度第 1 回浦安市児童センター運営懇談会会議録

- 会議資料 別紙参照
- 開催日時 平成 29 年 6 月 8 日 (木) 午後 6 時 30 分～7 時 30 分
- 開催場所 総合福祉センター 2 階 多目的室
- 出席者 10 名 委員名
  - (委員) 菅原委員 (浦安市小中学校校長会)
  - 中島委員 (民間有識者 NPO 法人 i-ネット)
  - 牟田委員 (民間有識者 浦安子ども劇場)
  - 本田委員・岡田委員 (民生委員・児童委員協議会)
  - 山田委員・高倉委員 (青少年相談員連絡協議会)
  - 小泉委員 (子ども会育成連絡協議会)
  - 熊川委員 (こども部保育幼稚園課長)
  - 高柳委員 (こども部青少年課長)
  - (事務局) (こども部児童センター)
    - 東野児童センター：河野所長・小池・飯塚・海老原・奥山・中里
    - 高洲児童センター：高梨所長・小泉・飯沼・村松・小出
- 開会
- 自己紹介
- 東野児童センター所長挨拶
- 会長挨拶 (菅原会長)
- 議 事
  - (1) 平成 28 年度事業報告について
  - (2) 平成 29 年度事業計画案について
  - (3) その他
  - ◎議事進行 (菅原会長)
  - 議事 (1)・(2) について 児童センターごとに事業内容を報告
  - 議事 (1)・(2) についての質疑応答・意見・感想
  - 議事 (3) その他
- 閉会

◎議事（１）平成 28 年度事業報告について

主な事業報告は以下のとおり

事務局（東野）：資料 11 ページの 3、制作のうち、タイムサービスでの「万華鏡」と毎月 1 週間の期間を設けている「おたのしみ工作」での「お花」、「動物ポンポン人形」を持ってきたので、見ていただきたい。

工作室では、廃材を利用して色々なものを制作して楽しんでいる。主に、シルバー職員がアドバイスをしたり、見守りをしている。今後も、こどもたちが色々な発想で工作を楽しむことができるように手助けをしていきたい。

事務局（東野）：資料 12 ページの 5、児童センター活動団体のうち、キッズスタッフ企画「探索中」について、説明する。

キッズスタッフとは、小学 3 年生から 6 年生までのこども達が東野児童センターの行事や活動に参加して雰囲気盛り上げたり、児童センターを利用するこどもたちの「やってみたいこと」を実現するように準備をするスタッフである。

キッズスタッフが企画し、春休みに「探索中～ミッションをクリアせよ～」を実施した。10 人がひとつのグループになり、3 つのミッションをクリアして、ひとつの言葉を作るゲームである。3 つのミッションは体力的なもの、頭腦的なもの、人とかかわるものとした。楽しい企画だったので、夏休みにもう一度、実施したいと考えている。

事務局（東野）：資料 12 ページの 7、少子化対策のうち、ふれあい体験「赤ちゃんとおそぼう」について説明する。

夏休み期間に小学校高学年、中高生が、助産師・保育士による講義を受け、児童センターで毎週行っている「赤ちゃんサロン」に参加し、実際に赤ちゃんを抱っこし、一緒に遊び触れ合う事業である。28 年度は小学生 35 名、中学生 18 名、高校生 21 名の参加があった。今年度も、命の大切さ、子育てについて、そして実際に赤ちゃんにふれあい、愛着を持つということを目的に事業を開催する。

事務局（東野）：資料に掲載はないが、東野児童センターで大変盛り上がっている遊びの企画について報告する。

センターの廊下を利用して、クイズラリーを行っている。妖怪を探すクイズや国旗を探して首都を学ぶクイズ、食べ物の原材料を学ぶ食育に関するクイズ、数字やパズルを解くクイズ、表をヒントに暗号を読み解くクイズなど様々な分野のクイズを用意している。こどもたちは、友達と相談したり、協力してクイズに挑戦している。クイズを通して読み書きの力や色々な分野への興味や関心を育てる手助けになればよいと考えている。

◎議事（２）平成 29 年度事業計画について

◎議事（１）・（２）についての質疑応答

会長：高洲児童センターの利用人数が前年度から 4,000 人の増となっている。要因はどのように考えているか。

事務局（高洲）：運営方針にもある地域とのつながりをもとにした事業の実施に効果があったのではと考える。複合施設内に高洲児童センターがあることも影響しているのではないかと考える。平成 27 年度に減少した利用者数が回復してきたこともひとつである。

会長：資料に前年度の比較だけでなく、長いスパンでの利用者推移があるとわかりやすいのではないか。

事務局（高洲）：次回から対応する。

◎議事（３）その他

事務局（高洲）：高洲児童センターから、報告が二点ある。一点目は、誕生月のこどもを児童センターでもお祝いしたいという気持ちから、職員が調理用ボウルを使って「くす玉」を手作りした。ハッピーバースデーの歌の後、くす玉が割れ、「誕生日おめでとう」の言葉が書かれた垂れ幕が降りてくる。低学年のこどもは自分の誕生月を楽しみにしている様子がみられる。

二点目は、新町地域の変化について報告する。今年の 5 月末に明海地区の大型総合スーパーが閉店した。児童センター利用者からは、家族でよく利用していたと聞いた。閉店によって、児童センターの利用が増えるということではないと思うが、地域にとっては大きな環境の変化であると認識している。また、明海小学校の前に戸建や集合住宅、福祉施設など建設が予定されている。2018 年 2 月まで工事期間となっている。その後は、利用者が増えるのではないかと考えている。

事務局：ここで、委員でもある青少年課長にお話しをいただきたい。

委員（青少年課長）：青少年課の仕事を話ししたい。主に小学生、中学生の居場所づくりの他に青少年の体験活動として、自然体験やジュニアリーダー研修などを行っている。大きな事業として、今年の 8 月 17 日から 21 日までの間、少年少女洋上研修を実施する。6 月 16 日まで募集しているので、小学 6 年生から中学 3 年生までの方に推薦いただきたい。

閉会